

広報 おなづまち 1976-2

ふるさとの心のきづな
伝統を守り育てよう

(写真 大津の大綱引き 1月15日)

人口の動き

出生	20
死亡	14
転入	99
転出	55
世帯数	4,811
男	8,943
女	9,746
計	18,689

交通事故 を目指して



交通事故は昭和四十五年をピークとして全国的には減少の傾向を示していますが、市町村など地方における交通事故は必ずしも減少しているとは言えません。

昨年中に大津警察署管内で発生した交通事故は四〇件、うち人身事故一六件、負傷者三九名、死傷四名という数字にのぼっておりますがこの死亡者の中には大津町民一名が含まれております。

更に事故の内容を分析しますと歩行者及び自転車利用等の死傷者の割合が高くなつてきております。

大津町では本田技研熊本製作所の操業開始によつて自動車は増加し事故多発は当然予想せねばなりません。

勿論これに対しては工場側でも通勤時間を調整したり交通安全対策等を強

うに打出して未然に事故防止対策がとられていますが、今後は町民ぐるみ、ひとりひとりが交通安全運動に参加して事故の防止につめねばなりません町では一月五日、日吉神社で「交通事故〇」を目標に交通安全所願祭を行ないましたが自動車運転する人々は安全運転を旨とし注意を重ねて事故を起さないようにし、歩行者は事故にあわないよう心がけて交通事故の防止につとめましょう。

大津町安全運転五則

- 一、交通のルールを守り模範的な運転をします
- 二、運転に注意して歩行者を交通事故から守ります
- 三、酒をのんだら絶対にハンドルは握りません
- 四、常にきめられた速度を厳守します
- 五、徐行や一時停止は確実に励行します

交通善意

カーブミラー 一基設置
御願所 田上 茂殿
交通遺児援護資金 金一封
本田技研労働組合熊本分会殿

新春を飾る

消防団出初式



昭和五十一年の新春を飾る大津町消防団出初式は一月八日午前九時より大津小学校で挙行されました。来賓多数の臨席のもと、大塚町長、緒方団長の訓辞をうけ、通常点検、機械器具の点検が行なわれました。席上優良分団、団員の表彰があり、県知事、大津警察署長、町議会議長の祝辞を戴き出初式を祝いました。

受賞者は次のとおりです。

今月ざしらせ

上井手定期水止め

従来三月に実施していましたが本年は次により実施します

二月五日 午後五時より
三月十四日 午後五時まで

今月の日曜在宅医

2月 8日	樽美医院	中村医院
15日	佐藤医院	野上医院
22日	金田医院	本多医院
29日	矢護川診療所	馬場豪医院
3月 7日	馬場集医院	鈴木医院
14日	勝久医院	福田病院

行政相談日

二月十六日(月)十時〜十五時
役場町民相談室

老人額の蒙休湯日

二月 十六日 十七日
十八日

一般生活相談

毎週火曜日 無料
十時から三時まで
老人憩の家内相談室
三日、十日、十七日
二十四日



熊本県消防協会長表彰

功勞章 池田誠也
功績章 勤続二十年
第二分団 宮本宗武
第三分団 岡岡英一 衛藤和幸
第四分団 大田黒一徳
第八分団 西本秋義
三池 秀
勤続章 勤続十五年
第一分団 高橋國利 佐藤秋雄
瀬川雅司 坂本賢一
第三分団 西村綱紀
松岡義弘
第四分団 藤本健一 古庄重信
第五分団 藤本健一 古庄重信
第六分団 玉永龍助 南部敬生
西本茂幸 岩下誠
第七分団 古庄盛光 芹川善博
古良英昭

消防協会菊池都支部長表彰

優良分団 第二分団 志賀敏男分団長
以下九〇名

優良団員

第一分団 東 延生 古庄静臣
第二分団 宮本宗武 岡岡真澄
第三分団 大田黒鎮 原野秀一
第四分団 富岡俊幸 西本秋義
第五分団 田村邦夫 岩下孝利
第六分団 三池宣生 岩永寿男
第七分団 坂本哲見 古良英昭
第八分団 石原大成 田代国広
本部 今村一也

大津町消防団長表彰

優良ラッパ隊員 第四分団 坂本邦博
第五分団 岩下貴久雄

優良団員

第一分団 宇都宮一誠 曾我元則
赤星信敏 坂崎善行
岡田美嘉男 東 建
大田黒忠勝 高本信敏
中尾雄男 光永憲夫
管野和雄 齊藤和彦
第二分団 鍋島慶一 松岡博雄
第三分団 林田茂 樋口勉
矢野範之 酒井正治
緒方健一 木下英夫
源川貞雄 荒木松雄
第四分団 三池隆儀 高浜一昭
大塚栄一 大塚和徳
第五分団 岩下知則 坂本 実
第六分団 齊藤信幸 岩水三千男
中野隆公 古庄和之
第七分団 村山 清 荒木輝幸
藤坂 泰 芹川孝之
第八分団 山辺昭行 杉水幸雄
中山五三 田代一孝
安永博昭 赤峰徳幸
第九分団 宇野博昭 合志義一
本部 宇野博昭

大津町長表彰

自治功勞章

第二分団 宮本宗武
第三分団 大田黒一徳 衛藤和幸
第四分団 西本秋義
第八分団 三池 秀
元 員 官前公俊 赤星興太
藤本行雄 白石強記
米村元己

感謝状 初期消火に功勞のあつた一般協力者

古庄貞雄 清藤 広 作本義一

昭和五十一年出初式通常点検成績

第一位 第七分団 本山武分団長以下七〇名
第二位 第六分団 魚野紀昭分団長以下五九名
第三位 第五分団 永永憲祐分団長以下六三名

論 文 募 集

熊本県資源を大切にする県民運動推進協議会では次の要領により論文を募集しています。

テーマ 資源エネルギーを大切にする運動展開の具体的方策について

応募資格 県内に居住する高校生以上の方

原 稿 四〇〇字原稿用紙六枚程度

締 切 二月十五日

送り先 熊本県福祉生活部消費生活課内 熊本県資源を大切にする県民運動推進協議会事務局

入 選 特選 一編
入選 二編
佳作 三編

応募者全員に粗品をさし上げます。

県畜産講習所生徒募集

本科生 一カ年 約十五名
中学校を卒業した者

(卒業自らの者を含む)

必要書類を添え県畜産講習所長あて提出すること

二月十日から三月十八日まで

①履歴書

②当該市町村長の発行する推薦書

③家庭調査書

④戸籍抄本

⑤最終学校の学業成績証明書

⑥保健所が発行した身体検査書

試験は三月二十四日午前十時

その他詳しいことは役場農政課畜産係までおたずね下さい

今月の健康メモ

脳卒中から

あなたを

守った検診

づいと前から死亡の一
番多かった脳卒中が去年
(五十年)は三番目になり
ました。

よかったですね

「なぜかと考えてみます
とあなただ方四十才以上の
人が毎年検診をうけて自
分の体を知って充分注意されてい
るからではないでしょうか」

脳卒中の原因は高血圧や動脈硬化が
土台になりそれと何かの「きつかけ」
があつておこるものです。



- 体次のことに注意しましょう。
- ①塩けのとりすぎ
 - ②ふとりすぎ
 - ③イライラや睡眠不足
 - ④酒、タバコのとりすぎ
 - ⑤働きすぎや運動のしすぎ
 - ⑥寒さ

福祉と衛生と公害と国保

記「福祉課はどんな仕事をしていますか」

長「一口に云いますとね。地域住民つまり大人も子供も老人もひつろめた皆んなの福祉の増進する行政です。記「今日は課で努力なさっていること又問題点について伺いたいのですが」

長「私達の幸せは身も心も健やかであることでしよう。そうして総ての町民皆んながハンデのある老人、児童、身障者、母子世帯、低所得者の人達を取り残さぬ福祉行政で町長が常日頃施政方針としています。『明るくて、豊たかで住みよい町づくり』を身をもつて推進しています。だから福祉課はよろず相談で千客万

記「福祉係での当面の問題は何ですか」

長「何と云つても明日の日が待てない人達のことでしょう。老令福祉年金の受給老人医療の無料化で、生活は随分明るくなりましたが、バスの中で病院で席を譲らない敬老精神でどうなるでしょうか。偶然と集う会でも『面白うございませう。楽しかったです』とおっしゃる。

もつと教養する団体であり、奉仕する団体であり、全暇を楽しむ団体になつてもらいたいものです。そうしたらどんなにか楽しい自主的なクラブになるでしょうか」

記「老人憩いの家の利用者がトントないのでないですか」

長「お年寄りにはお湯が魅力ですね。憩いの家の玄関まで態々足を運びな

記「母子世帯は如何ですか」

ら、お湯のない日はあがらずに、つんぐり返えしお帰れりになります。本当に相済まないことです。併し一面モット魅力のある人と設備を整えた施設老人福祉センターの設置が当町におけるニーズであると云えましよう。」

独居老人が当町には一三〇人からおられます。寂しい住い毎日の生活です。老人電話非常ベル等も設置したいのですがもつと大事なことは近隣の人が又老人クラブの会員が老人会員が交互に訪問するボランティアの組織化を急務とします。

それから在宅の寝たきりの老人が当町には四五名からおられます。体は意の如くならない。部屋に一人取残こされていくことは寂しくて、忙しくて、心許無いですね。人間愛のボランティア活動を是非展開したいものです。

表1

年令区分	人	%	年令区分	人	%
20才未満	0	0	20才代	6	2
30才代	33	33	40才代	50	46
50才代	20	19	60才代	0	0

母子世帯になった原因

区 分	数	%	区 分	数	%
事故死	15	14	未婚の母	3	2
離婚	30	28	病死	52	47
遺棄	6	5	其の他	3	2

長「昨年の十一月母子世帯の実態調査を実施したのですが、〇九世帯です。」

「表一表二、零細収入低所得世帯が案外多いですね。技能技術がないことが原因ですが、ただに生活が不安定です。共通した介在する問題として転職、育児、教育、就職、結婚などが重複しています。」

「同じ境遇にあり、同じ想をなすっている母子世帯の皆さんが相互に扶けあい、いばけまし合ひ会が開店休業です。テコ入れして民生的に活動する会にしなければなりません。」

記「子育て対策どうですか」

長「ただいま、唯今「お帰えりなさい」の声は何処からもない。空振りで見守る。本当に淋しいです。ショーンがない。TVとにらめつ子。」

「子供会の組織育成の必要を痛感しています。」

記「保育所に対するニーズは如何でしょうか」

長「家族が核化しますと、共稼ぎのため保育所に対するニーズは高いと謂えます。」

「本田技研の操業で人口も漸増しますので乳児のいる施設を近い将来設置しなければなりません。」

記「若草学園は創立何年になりますか」

長「この四日で二年になります。」

記「卒園後も職員がきめ細かく職場訪問指導しておられますか」

長「アフターケアですね。卒園児は涙流して喜びます。有難いことです。」

記「今後の問題はありますか」

長「学園は県内で三番目に設置された施設ですが、此の途のバイオエナジー的な存在です。だから重度模を併設し、モット不幸な児を収容し、保護教育することを義務づけられています。」

記「次に衛生行政についてお聞かせ下さい。」

長「自分の健康は自分で保持する。自分の管理者であれば問題ないのです。が、児童の定期的な予防接種は親御さんが大変心配します。で、成体良好です。ところが大人自身の健康管理はどうでしょう。住民健診は近年受診率が次第に低下する傾向にあります。昨年定期健診時異状

異状あり入院をすすめられた者もありました。夢油断したうな。」

記「がん検診について」

長「私達は健康の防人です。バイオエナジーであることを自負しています。病気の予防と早期発見と早期の徹底した治療でしょう。胃と婦人病の検診を毎年実施しています。受診率は左の通りで誠に参々としています。」

年次	種別	46	47	48	49	50
胃	検診	540	438	581	524	605
婦人	検診	409	499	756	1226	855
大津町有権者						
	男	5934				
	女	7159				
						50.10月

若し万に一つと謂いますがこれは千に一つと謂うのが常識です。PRと啓蒙と指導に努めなければなりません。」

記「成人病についてお聞かせ下さい」

長「当町では誕生健診、謂っています。が県の指定、県補助、三年で実施したのですが、成績は尻上りになっています。大人の健康管理のキーポイントです。それで五年度までは循環器健診、脳補助を引続き指定を受けて実施します。」

記「火葬場は工場団地のど真中になるのでないですか」

長「早晚移動転載いは廃止問題になります。また、移転問題も問題になります。附近住民が到底同意しないでしょう。又大津市として発展することが予測される時廃止することは福祉後退と断行します。左顧右見てなく熟慮断行する秋が到来しています。」

記「公害関係については如何でしょうか」

長「航空騒音については広報一月号に熊本空港長との対談を掲載しました。一般騒音についても規制する策定作業を進めています。」

黄色の公害があります。最近浄化槽を設置し定期的な薬物の投入、清掃をおこなう、忘れたいのは無知の人もあるくらいです。水質汚濁、自然を破壊しています。チツト

も油断できません。次に、燃料、不燃物のゴミです。川筋は全く駄目です。天下の公共施設川を処理場と心得ています。全く言語同断です。今に大変なことになる。パトリールを強化しPR啓蒙の必要を痛感しています。」

記「保険料が高いと聞きますが、なぜですか。又対策をお聞かせ下さい」

長「二つには医療費の値上りによるものです。物価が高騰しますのでベス・アップによるもの。二にはお医者にかかると人が多いですね。三には老人医療が無料になったので大々利用されています。それで町民皆んなが健康であれば、誰も好きのんで医者に診てもらいません。健康のよき相談相手保険婦さんが当町には二人です。毎日町民の健康保持、管理のため東西西走しています。大津町の人口一九〇〇〇人。少ながらも四人必要です。近い将来と謂わず増員したいものです。」

記「同感です。福祉課の職務は複雑多岐であること。これもこれも住民の生活に直結していることが理解できました。」

長「どうも、長時間、永い間おつきあいいただき有難うございました。」

議会報告

定例会十二月十九日から二十四日まで開会されました。

主たる議題は非常勤特別職、及び職員給与条例の改正と、一般会計補正予算の外、十二議案が原案通り可決されました。

一、大津町監査委員の選任については任期満了に伴う選任で、引き続き今村 勉氏を選任

学年末の少年を正しく導こう

新一年入学予定者

昭和五十一年四月入学の新一年生の数を住民基本台帳で調査しましたところ次のようになります。

大津小	百三十九名
大津南小	五十三名
大津東小	十一名
平川小	十一名
真城小	九名
矢護川小	八名
藤川小	七名

近日中に入学通知書をお届けしますので切取り線から下の部分に御記入の上各小学校に御提出下さい。

進学、就職の季節がやってきました。少年たちにとっては、希望に満ちた楽しい時期ですが、その反面、進学、就職についての不安、学校生活から解放された気のゆるみなどから、非行や家出に走る例も少なくありません。例年この時期には盛り場はいか、万引、飲酒喫煙、パチンコ、シンナー乱用、また進学や就職試験の失敗からくる絶望感による家出、自殺などもみられます。

このように近年末は、少年にとって情緒不安定の時期です。家庭、地域のみならず、少年の希望する就職や進学が無事かなえられるよう次の点に留意して指導してゆきたい。

大津警察署

大津町自治功労者表彰

永年勤続職員

山田 昭義	高木ミチ子
月尾 節男	日野恵美子
片山 又勝	大塚 雅子
松本 恵記	荒木やみ子

(非常勤)

学校医	矢嶋 健二	本町二
組長	三池 和人	日吉町
民生委員	本田 直義	上大津
大山 高頭	松古閑	
社会体育指導委員	村上 直人	前田町

(感謝状)

村山 繁美	下中
矢野 和子	北部地区電話普及
	岩坂
	小学校に高額寄付

「あたたかい心がかよう地域づくり」をみんなの手で

郡内の町村、地元の町行政当局をはじめ青年婦人子ど会などの団体の指導者や区長など地域の代表が集まり、中央公民館において、各地域や団体で「横のつながりを深め、あたたかい心がかよう地域づくりをすすめるために」はどのようにしたらよいか」というテーマをもとに研修会がもたれた。

工業化がすすみ大きく変化するような大津町を素材にして、町行政の立場、企業の立場、本田技研から将来を展望した地域づくりについての構想、また実践例として津村若人のつとめいかことについて発表がなされ、それらもまた今後のあたたかい地域づくりの方途について話し合いがなされた。

今後ますます人と人のつながりがうすれていく中で、大津のよさを受けつ





馬荻町 大津

初心者軟式テニス教室

毎週土曜日 午後七時～十時まで
大津小学校体育館
ラケットは用意致しております
指導者 大津テニスクラブ
日野 靖彦 坂本恵一郎
他 菊地隆昭役員

明十七 下道(陣内道)の開通

十九 上道(大津道)の開通

二十六 上道縣道となる。この頃

行燈がランプになる

四十一 輕便鉄道(熊本大津間開通

大 三 国鉄熊本→大津開通

この頃電燈がともる

十一 電話開設

十四 バスが通うようになる

先に江戸時代の様子を紹介したが今

回は右の年表の輕便が通い、その後豊

肥線が大津まで通うようになる明治の

終りから大正の初めにかけての大津の

様子について古老の方々の記憶をたど

りながら再現してみたい。

明十九年に上道が開通し、今までの上

大津から中町にかけてのきわいなが次

第と堀町すじから新道の方へと移って

いき、上大津の木屋とか館屋とかいっ

た大商店も上鶴の方へ下りていった。

また阿蘇、南郷方面の馬車の熊本への

中継地となり、馬車宿が発達し上鶴を

中心に八軒以上はあった。このあたり

は他に蹄鉄や飲食店もあり、賑わいを

呈していったようである。

一方室町の方は明四十一年に輕便鉄道

が開通し、今の中島石油店の裏あたり

に駅があり、この附近に旅館などの旅

館や飲食店ができ、一時期賑わった。

その後大正三年に輕便線が大津まで開

通し駅が中央になるに及んで室町の東

半分に店が多くなった。この景気は大

七年に宮地まで開通するまで続いた。

当時の再現を生じもつて地図にま

めつつあるが、当時の店としては宿屋

菓子屋、飲食店、馬車宿、荒物店など

の他に材木店、米屋、呉服店などが多



大正四年頃
の新道(壬子号線)
の町並の様子

今町並は、比べてみて、
当時の家や軒、人々の服装、
道の様子、大津の歴史、
まちが、いれ

寒に鍛える 少年剣道クラブの鏡開き

一月四日少年剣道クラブの稽古初め
が新装成った武道館で行われました。
今年には四十八名(矢護川小十名、大津
小十三名、大津中十五名、一般十名)
が参加、例年より一段と気合の入った
初稽古でした。

寒さを吹き飛ばす激しい竹刀の音とか
け声で道行く人連も思わず歩みを止め
て見学しておられました。

一時半余りの稽古で皆汗ビッシヨリ
最後に正座して静かに目を閉じる無念
無想の後のさわやかさは例えようもあ
りません。

この後クラブ員が去年の稽古納め(十
二月二十七日)に八升の米で搗いた餅
を使って父兄の方々にくしのせんざ
いをいただきながら今後の健闘を誓いあ
いました。

剣道教室

健康な身体と礼節を重んじる精神を
養い青少年の不慮化防止の目的で左記
のとおり剣道教室を実施しております
初めの方も毎週つて御参加下さい
矢護川小武道場

大津武道館
小学生 毎週月水金 午後五～六時
中学生 毎週月金 午後五～六時
小学生 毎週月金 午後五～六時
中学生 毎週月金 午後五～六時
一般 毎日 午後六～八時

社協一般寄附金

ニコニコ献金	大津産業高校3年6組1同
11,003円	立石住宅 草村 強殿 5円と1円の硬貨として
12,901円	大津中学校生徒会として
5'000円	歳末扶け 白石 二生殿
1,000円	年弥町 和己殿 松古岡 拾得金
香典返し	
20,000円	中学通り 笹井 義次殿 亡長女殿次女殿
20,000円	岩坂 中山 義雄殿 亡母 コマ殿
20,000円	中島 山村 朝義殿 亡妻千恵子殿
20,000円	上陣内 吉永 堅殿 亡母 シゲ殿
20,000円	岩坂 堀田 末義殿 亡母 マル殿
10,000円	錦野 東 広士殿 亡母 トチ殿
20,000円	森 亀井 重晴殿 亡叔母平井サザニ殿
25,000円	引水 坂本 勇殿 亡父玄之吉殿
50,000円	鳥子川 野田 常次殿 亡母 キク殿
(外に鳥子川老人クラブに20,000)	
30,000円	鳥子川 阪田 ケサ子殿 亡夫 留治殿
30,000円	平川馬場 宇野 惟成殿 亡父 嘉一殿
20,000円	中陣内 高本 トキヨ殿 亡母 トミオ殿
10,000円	上町 坂田 トミオ殿 亡母 ミサジ殿
10,000円	杉水 本田 正則殿 亡叔母本田スミエ殿

つば漬五ノ村西大塚半十郎
一、〇〇〇円 鳥子川 太日 兼清様
赤酒五升、ワイン五升 大津薬善酒店様
生椎膏十K 立石住宅丸岡昌様
楽団慰問石ケン四、五、タオル四五
菓子十一K、ミカン四〇K 北熊本
自衛隊四二普通連隊第二中隊
以下十二名様
二、五〇〇円 吉町古閑大二様
ミカン四五K 堀丘住宅平川とし子様、
山城エイ子様、上村スミ子様、浅
井チ子様
歯ブラシ五〇箱 読新聞本田正行様
端布多数 堀野高松洋裁店様
白菜六〇K 井手上住宅月尾ナツエ様
五〇、〇〇〇円 上鶴新町松井実様
みかん一五〇K 牧田岡美次様
茶〇、七K、レコード十五枚 赤酒一合
入四二本 熊本善意銀行様
五、〇〇〇円 肥後大津アルコール工場
青婦部様

オギヤー 献金

2,000円	室 首藤 誠治殿
2,000円	大津 岡山 耕三殿
3,000円	吹田 大田 黒英生殿

希望者は三月二十日頃までに大津町社協に申し込んで下さい。
尚右の二つの修学資金について詳細なことは大津町社協にお問合せ下さい。

利子は年三分で償還期限は八年以内となつています。
希望者は昭和五十一年二月十五日頃までに大津町社協に申し込んで下さい。

交還通児への修学資金給付
高校生に限ること
給付額は月三、〇〇〇円

●老人ホーム慰問



善意

菓子二箱 ミカン十五K 酒一升、漬芸
全産交労働組合 大津支部十三名様
煙草四、三〇〇本 専売公社熊本営業
所長様
ケーキ十三箱 室横田商店様
餅一三二個 室大塚米穀店様
男物洋服上下五着 室洋服三陽様
牛乳四六K 室田村正次様
餅十七K 大津地区婦人会様
みかん三〇K 後迫住宅鎌田秀雄様
餅七K 室吉川時計店様
ヤクルト六〇本 室大塚孝子様
三、〇〇〇円 駅通新誠館興水莊造様
製茶六〇袋 杉茶製茶工場
ヒロス六〇枚 井手上古庄徹郎様
鳩十一羽 大津町狐友会本社殿一様
ヒロス六〇枚 松古閑大山高調様



世帯更生資金の修学資金貸付

公立高校	月三、〇〇〇円
私立高校	四、〇〇〇円
公立短大	六、〇〇〇円
私立短大	九、〇〇〇円
公立大学	一、〇〇〇円
私立大学	一、〇〇〇円

今日から大人



ふるさとのあかりを絶やすな

最近、各地でふるさとの見なおそうというんがとが取りあげられて来ているのを皆さんよく承知のことだと思います。

私たちの大津町でも見まわしてみると古くからうけつがれて来た風習、行事等がいつの間にか途絶えていたり、なかりつづつあることに気がつかれると思います。例えば岩坂地区にあった人形浄瑠璃、瀬田地区の田植唄と牛舞いなど一寸考えただけでも中々ありません。このように生活のなかから自然に生まれた伝統の火は絶やしたくないと思います。このあかりは一人だけで守ることはむりなこともありますが、地域のみんなが力を寄せあうことが必要であり、そこからまた新しい心よふれあいがはじまるのではないでしうか。嬉しいことには、杉水地区や平川地区でも昔で神楽の継承に努力をしておられるのですが、ぜひほかの地域のみならず、あらためて身のまわりを見なおして下さい。そしてみんなてふるさとのあかりを絶やさない

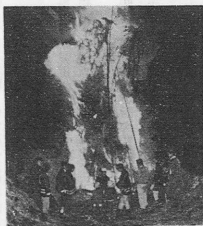
一月十五日午前十時から中央公民館で大津町の若人三百三十名が新らしく大人の仲間入りをしました。

出席者全員がキャンドルをかこみ、輝かしき未来への旅立ちを祝うとともに一人ひとりが責任をもつて行動することとを誓い合いました。

このあとみんなが手をつなぎ歌をうたい、踊りを楽しみましたがこの若人たちはみんなが手を取りあつて郷土をみつめ、愛しながら心のあたたにかよい合う住みよい大津町づくりのために活躍し、中心となつてくれるでしょう。

ようにしましょう。

一月十五日の綱引きは、すでに皆さんも御承知のことと思いますが、ほかに高尾野のどんとや、下町のもくろうちを紹介しておきますが、皆さんがたの地区でこんなことがある」とか「こんなになっている」などありましたら公民館にご連絡下さい。できるだけ広報に掲載させていただきますと存じます。



寒風を突いて走ります

昨年ほじめに催しました白川ライオンマラソン大会は大へん好評でした。もう回覧で知つておられると思いますが今年も一月十五日(日)に開催いたします。すでに県内外より申込みが届い

ておりますしあらたに「Ｏコースも設定しましたので、たくさん参加して下さい。申込書は中央公民館に用意しております。昨年以上に盛況でなくてはいいと思つておりますが、またたくさんの方々にご迷惑をかけることと存じますがよろしくお願いします。尚当日コースにあたる御家庭で犬を飼つておられる方は恐れ入りますが必ずつないでおかれるようにお願いいたします。たいへん危険ですので御注意下さい。

お絵かきをしませんか

熊本子ども劇場大津サークルでは、昨年の暮れクリスマスパーティーをかねてお母さんと一緒に絵かきをやりましたが好評でしたので、再び一緒に絵かきをしようと思つております。皆さんのご参加を待つております。とき 二月二十二日(日) 午前十時から十二時まで

ところ 大津町中央公民館
もつてくるもの クレパススぐ道具
なお詳しいことは中央公民館(電話二四六)か郵便資料(電話二五五)へお問い合せ下さい。

できたぞ

ゲートボール場

猿渡地区老人クラブでは同会の練習場を区に相談したところ、区有地を開放してもらい、その上四万円の区費をかけて区民総出の奉仕作業で見事な練習場が出来上つた。

お年寄りのレクリエーションとしてゲートボールが年々盛んになり対抗試合なども行われるようになって、町内あちこちにゲームを楽しむ姿がみられるようになり、ほほえましい風景です。猿渡地区の老人クラブでは区民の皆様にご感謝するとともに老人クラブでもみんなの厚意にむかひたいために、何か役割はないかと模索つています。